

## 【基本1.】

### Michio Kaku のパラレルワールド理論

宇宙論は宇宙全体を研究する学問で、アインシュタインが理論的な土台を築き、一般相対性理論で静止観測者にとっては曲線の光源ではなく、動的で曲がっていることを証明しました。一方、ニュートンは天体の運動を支配する基本法則を発見しました。m 理論は超弦理論であり、11 次元の超空間内の理論についてで、宇宙は当初 10 次元で、素粒子の理論を構成する素粒子について波動関数が説明されます。

#### 宇宙の 4 つの力

宇宙には 4 つの基本的な力があり、それぞれ重力、電磁力、弱い核力、強い核力と呼ばれています。これらの力が相互作用することで、宇宙に存在する様々な現象が生じます。また、宇宙論は未だに解明されていない部分が多く、数学的理論を用いて少しずつ理解が深まっているとされています。人間が宇宙に存在する力を解明したり、それを利用することで、人間と宇宙との関係や生き方に影響があると考えられています。

宇宙論とは宇宙全体を研究する学問で、宇宙論の理論的な土台を築いたのはアインシュタインです。ニュートンは天体の運動を支配する基本法則を発見しました。一方でアインシュタインは一般相対性理論で、時空の構造は静止観測者にとっては曲線の光源ではなく、動的で曲がっていることを証明しました。

アインシュタインは曲がった空間の概念を持ち込んだのです。

m 理論は超弦理論であり、11 次元の超空間内の理論についてです。

宇宙は当初 10 次元ですべての力が紐で統合されているとされ、素粒子の理論、クォーク、レプトンなどを構成する素粒子です。

波動関数はこの素粒子に付随する波です。

続いて、宇宙を動かしている 4 つの基本的な力について説明します。

宇宙を支配する基本的な力は現在 4 種類と言われています。

4 つの力は強さや性質も違います。

では、順番に説明していきます。

まず、

1つ目は重力です。

これは、質量を一つの塊にまとめた周りにかかる力で、惑星に巡らされているときれます。この重力が消えたら、構造が崩壊し地球は破壊され宇宙へ放り出されてしまいます。

2つ目は電磁力です、

これは、電気やマグネットの性質を説明する力です。

電磁力をミクロで見ると、その正体は微粒子です。つまり、量子です。

3つ目の力は弱い核力です。

これは、放射性崩壊や原子核崩壊、放射線治療、火山エネルギーなどに関係していません。

4つ目の力は強い核力です。

これは、原子核を一つにまとめる力です。

原子が崩壊する現象は消滅するということです。

この核力は宇宙に存在する 100 種類の元素を生み出しています。

この核力は、強さと威力の両方があるため、太陽は光を放射し続けています。

核力がなくなると宇宙全体が真っ暗になり、地球の温度は一気に低下します。

核力がなくなると、宇宙全体が真っ暗になり、地球の温度は一気に低下して、海は凍ってしまいます。

続いて、波動とビッグバンについて

4つのパワーは、それぞれ違った波動を持ちます。波の動きです。

違った波動を持ちます。4つの基本的な力は、謎めいた聴力は、super force と呼んでますけども、省力にまとまっていて、その4つの波が偶然一致した時には、ビッグバンが生じたのではないかと想定されます。

この宇宙で、我々は移り的な現実に対する周波数というのを常に受診しています。

波動関数とは、意識ではなく、外界とのランダムな相互作用によって収縮します。では、本性を読んで改めて考えてみたいことを5つを挙げます。

まず

1 自然界における人間の位置付けと人間と宇宙との関係、

- 2、全宇宙を支配している意識と情報について、
- 3、人生の真の意味とは何か、
- 4、数字で表現し解き明かすにはどうしたらいいか、
- 5、空間と時間の捉え方。以上 5 点です。

宇宙はまだ謎だらけでほとんど解明されていません。これから少しずつ、数学を使った理論などで解明されていくと思います。今わかっていることは、宇宙には 4 つの基本的な力が存在していて、それぞれ波動周波数を持っています。その相互作用でいろいろなことが起こりえます。人間は宇宙に存在する力を、これからも解明していくことで、それを活用したり、人間と宇宙との関わり方や、人生そのものの生き方も、もっと改善変化させることも可能だと思われます。